

# 中国・江西

江西省の景色は際立って美しい





## CHAPTER 1

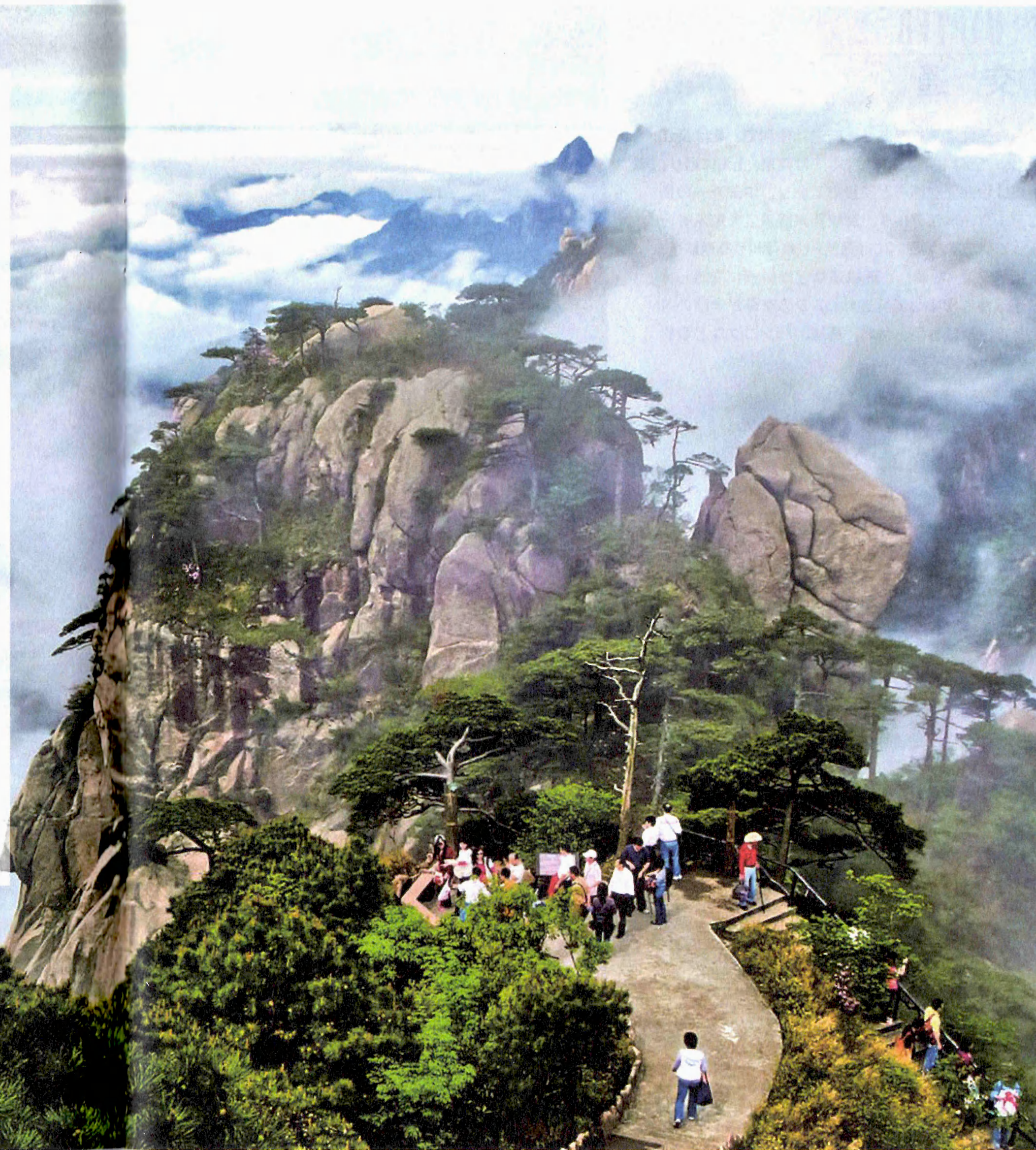
### 江西省観光の概要

江西省は中国のやや中部寄りの南東部、長江の中・下流の南岸に位置しています。面積は16.69万平方キロメートル、人口は4,600万人以上を有し、11の市区を管轄しており、省都は南昌市です。江西省は豊かな地域性によって優れた人物を輩出し、また天の恵みともいべき豊富な物産にあふれており、儒教の中興の地、また仏教の繁栄の場、磁器の魂と陶聖の都、客家文化の源、革命精神の故郷、さらには大自然の動植物の宝庫ともなっています。美しい山々と美しい水系が名所旧跡とともに光り輝き、歴史文化と閑静な生活が渾然一体となり、優美な田園と都市・農村ののどかな調和は絵画の如く、自然風景と民俗風情はともに魅力を織りなしています。江西省には「四大名山」（奇秀天下第一である廬山、革命の揺籃である井冈山、峰林の奇観である三清山、道教のふるさとである龍虎山）と、「四大揺籃」（中国革命の揺籃である井冈山、人民軍の揺籃である南昌、人民共和国の揺籃である瑞金、中国労働運動の揺籃である安源）、さらに「4

つの千年」（千年の磁都・景德鎮、千年の名楼・滕王閣、千年の書院・白鹿洞、千年の古寺・東林寺）と中国最大の淡水湖である鄱陽湖（はようこ）、中国で最も美しい農村・婺源（ぶげん）、廬山西海、亀峰などを代表とする多くの優れた観光資源があります。

80数年前、一代の偉人・毛沢東は、ここで「踏遍青山人未老、風景這邊獨好（遍（あまね）く青山（せいざん）を踏む人未（いま）だ老（お）いず、這邊（しゃへん）風景獨（ひと）り好（よ）し＝木々の生い茂る山々を遍く踏みしだく人（毛沢東・紅軍戦士）は未だ老いることを知らず、このあたり（中央の革命基地である会昌郊外）の風景はひと際良い。）」という壮麗な詩句を残しました。

「廬山天下悠、三清天下秀、竜虎天下絶（廬山は天下に悠（とお）く、三清は天下に秀（ひい）で、竜虎は天下に絶（わた）る）」、江西の風景はひと際良いものです。



## CHAPTER 2

### 交通

江西の区位は優れており、交通は便利で、北は長江を治め、上は武漢3鎮に接し、下は南京、上海に通じ、南東は沿海開放都市と隣接しており、中国唯一の長江デルタ、珠江デルタ、海峡西岸経済区を結ぶ省となっています。境界内には滬昆(上海-昆明)高速鉄道、合福(安徽-福建)高速鉄道などが縦横に交錯し、高速道路も密集して発達し、7つの空港が全国の各大都市、及び香港、台北、高雄、バンコクなど境界外の都市と結んでいます。

## CHAPTER 3

### 人文

江西の人文は旺盛です。有名人を輩出し、禅宗文化はここで定型化し、儒家文化はここで中興を成し、道教文化はここに源を發します。

仏教が中国に伝わった初期、江西廬山が仏教の中国化の温床になり、中国の仏教化の起点ともなりました。晋の高僧・慧遠は廬山に団体を作って専ら行を修め、中国仏教10派の一つ・浄土宗を創立し、今なお「仏国浄土」と称えられています。江西は中国仏教文化の中心であり、祖庭も多く、名実ともに禅宗の揺籃となっています。

書院(講学の場所)は中国古代の文化教育發達の標(しるし)です。唐代書院は江西で興り、宋・元・明の3代には、江西の書院の数はいずれも全国一となり、千か所以上あります。

中国の本土宗教である道教の發祥地として、江西龍虎山は「千古名岳、道教仙山」と称えられています。初代の張道陵天師が後漢末期に龍虎山肇基で不老長生の丹薬を作って道教を創立してから、代々の天師が龍虎山で約60数世代、2000年近く傳承し続けました。



## CHAPTER 4

江西における主な国際的  
魅力のある優秀な名所・観光地区



## JANUARY

一月、景德鎮へ行き、陶磁器の音に耳を傾ける

新年の始め、あなたはお出かけの途中ですか。

ある都市が、あなたが china に出会うのを待っています。

世界に名高い磁都・景德鎮は、千年間竈（かまど）の火が絶えたことはありません。北宋景德元年（西暦 1004 年）から清朝（西暦 1644～1912 年）まで、景德鎮が宮廷のために磁器を焼成した歴史は 900 余年に達しており、世界最大の古代皇室磁器焼成地です。景德鎮の磁器は海外で名声を博し、かつては海上シルクロードの最も大口の商品であり、全世界のトップクラスの博物館の中で、その面影を絶えることなくたたえています。この約 2000 年の磁器製造の歴史を持つ手工業都市は、時は今日に至っても依然として盛んな活気に溢れており、全世界の数万の「景漂（＝景德鎮を目指してやってくる人）」がここで自分の陶磁器の夢を成し遂げるよう惹きつけています。

## FEBRUARY

### 二月、寒い日は、明月山へ来て「セレン」温泉で入浴

江西は、地熱資源が豊富で、温泉が多く、絵画のような風景を持つ宜春明月山のふもとの温湯温泉はすでに800年余りの利用の歴史があります。1日の出水量は1万トン、水温は常時68℃～72℃を保ち、「高セレン低硫黄」という良質な泉水であり、水質は柔軟で、飲むことも入浴することもできます。こうした高セレン低硫黄の水質は、現在既に開発されている世界の温泉の中でも2か所しかないそうで、1か所はフランスのエピアンノルマンディーの冷泉であり、もう1か所が、この江西の温湯温泉です。寒い冬には、「明月山に登ったり、セレンに富んだ湯につかったり」というのがいい選択でしょう。

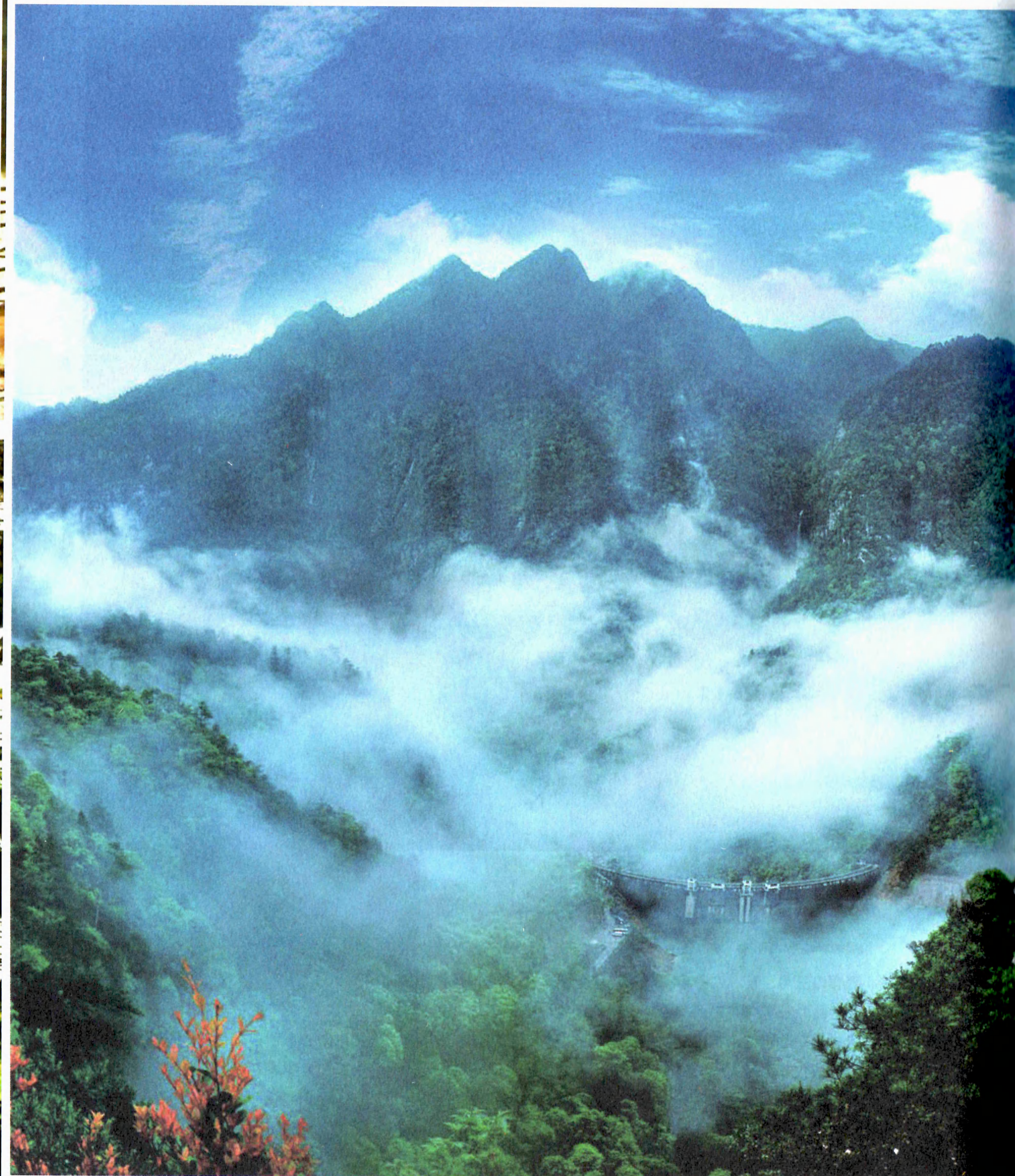


### 三月、一面の花、婺源とデート

## MARCH

陽春の三月、婺源にある10万畝（約6,667ヘクタール）の菜の花畑が満開になります。折り重なって、咲き乱れる菜の花の海、百年の歳月が染み込んだ白い壁・青黒色の瓦、その中でひと際引き立つ薄紅色の桃の花や純白の梨花、水墨画のような田園風景、さらに詩画の中で田を耕す男や衣服を洗う村娘に牛を放牧する稚児……このすべての要素が完璧に融合して、婺源一か所に集約されており、まるで1枚の山高水遠、深山に庵を結んだ中国水墨画のように、たちまち人の心を水の如く静め、世間から隔絶されたかのように感じさせるのです。

篁嶺は崖の上でかかった徽州の古村であり、現在まで既に580年余りの歴史があり、「中国の最も美しい記号」と称えられ、晒秋の美によって世に名を知られています。



四月、人間（じんかん）芳菲（ほうひ）  
尽（つ）き、井冈山に杜鵑（ツツジ）  
開く（＝世間の香しい香りはすでに尽  
きてしまったが、井冈山に杜鵑花（ツ  
ツジ）が咲いている）

APRIL

この世で最も美しい4月、一面の杜鵑花（ツツジ）の海を逃す手はありません！井冈山の665平方キロメートルの観光区の中に、ツツジの密林が18平方キロメートル余あり、毎年4、5月ごろ、ツツジが咲き誇ります。百里の花山に色彩が入り乱れ、広大な絹織物や美文の如く山や嶺を覆い、百態千姿、山野を埋め尽くし、辺り一面花が咲き乱れます。

井冈山は革命で有名です。90数年前、毛沢東ら一世代の革命家たちはここで中国最初の農村革命基地を建設し、その後革命のほのかな火は、次第に燎原の勢いとなっていきました。

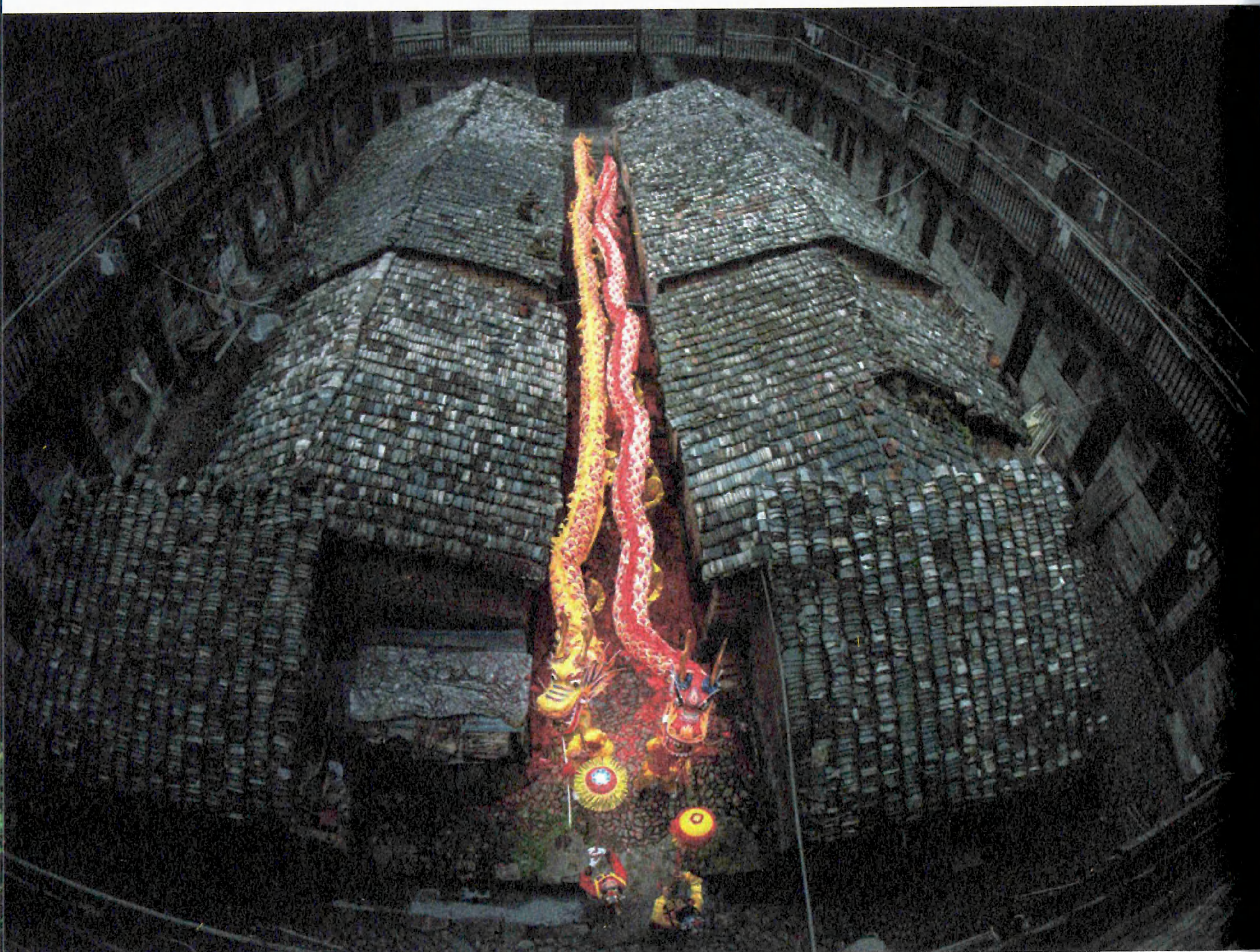




## 五月、仙人すら懐かしむ地、龍虎山を散策

MAY

龍虎山はもともと「千古名岳、道教仙山」と称えられ、典型的な丹霞地形に属します。大自然の億万年の世の変遷とそれによる精細な彫刻が、千峰競いそびえる龍虎山と、朝霞の如くきらびやかな丹霞の絶景を形成し、2010年には国連教育科学文化機関（ユネスコ）によって世界自然遺産に指定されました。風光明媚な碧水・丹山と、悠久の歴史を持つ道教文化、そして簡素で隠微な懸棺崖墓の謎は龍虎山の三絶を構成しています。昼間は瀘溪河で流れに沿って漂い、絵画の世界の中で楽しめば、絵画は目の前で展開し、兩岸の奇峰が次々と眼前に現れ、その美しい景色は桂林漓江に引けは取りません。夜のとばりが降りれば、大型実景公演『尋夢龍虎山』が美しく光輝きを放ち、夢幻の如き世界へと誘います。あなたもきっと仙人の逍遙を体験できるでしょう。



## 六月、古きを訪ね、江南宋城で千年を体験

# JUNE

贛州は現在中国で完全に保存されている北宋の城市で、「宋城博物館」と呼ばれる、客家の文化の長い歴史を持っています。贛南は全国の三大客家人集中居住地の一つです。

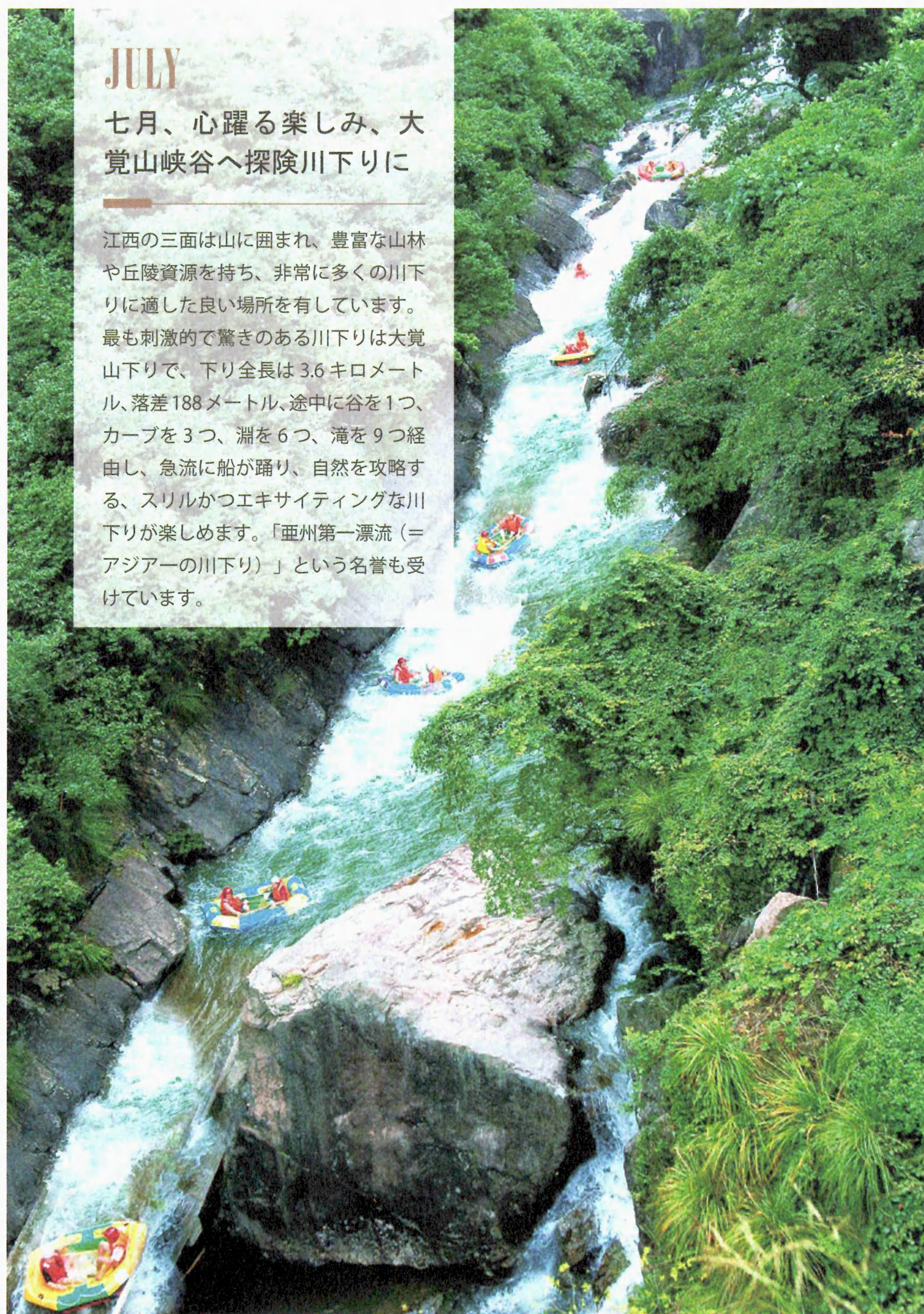
贛州の宋代古城壁は、我が国で唯一現存する宋の煉瓦城壁であり、北宋嘉祐年間（西暦 1056 ～ 1603 年）に作られました。

贛州にはこのような古建築の集落があり、海外専門家からも「東方の古ローマ」と称えられています。名高い福建土楼と同じ建築体系に属しながら、知られざる建築界の遺宝——それが贛南の客家困屋です。竜南関西新困は国内で発見された、最も完全に保存され機能を揃えた客家困屋であり、安全保護や、防風、耐震、陰陽調節、また冬暖かく夏涼しい実用的機能があるばかりでなく、豊かな客家文化を内包しています。

# JULY

## 七月、心躍る楽しみ、大覚山峡谷へ探険川下りに

江西の三面は山に囲まれ、豊富な山林や丘陵資源を持ち、非常に多くの川下りに適した良い場所を有しています。最も刺激的で驚きのある川下りは大覚山下りで、下り全長は3.6キロメートル、落差188メートル、途中に谷を1つ、カーブを3つ、淵を6つ、滝を9つ経由し、急流に船が踊り、自然を攻略する、スリルかつエキサイティングな川下りが楽しめます。「亜州第一漂流（＝アジアの川下り）」という名誉も受けています。





## 八月、激情を燃やし、 南昌の英雄的気概を体験

# AUGUST

1927年8月1日、南昌蜂起は中国共産党が単独で武装闘争を導き、革命軍隊を創設する序幕を開いた事件です。南昌は軍旗の上がった場所として、人民軍隊の揺籃となり、「天下英雄城」という名誉を有しています。

南昌城市は、水面が霧にかすみ果てしない鄱陽湖の浜、流れが絶えることのない贛江の畔にあり、風光明媚な古い都市です。優美な江南の水郷環境と現代の力強い科学技術は自然とともに解け合い、居住にも観光にも適しています。

中国でほとんど全ての学生は滕王閣を知っていますが、その理由はそれが江南の三大名楼の首位であるからではなく、中学において暗唱しなければならない『滕王閣序』という1編の教科書文があるからです。29回の再建を経験し、1300年余りを隔てた今日、滕王閣に登って眺望を楽しめば、依然として「落霞与孤鶩齊飛、秋水共長天一色（落霞と孤鶩とは齊しく飛び、秋水は長天と共に一色なり）」という古人の深遠な境地の詩句と共鳴することができるでしょう。

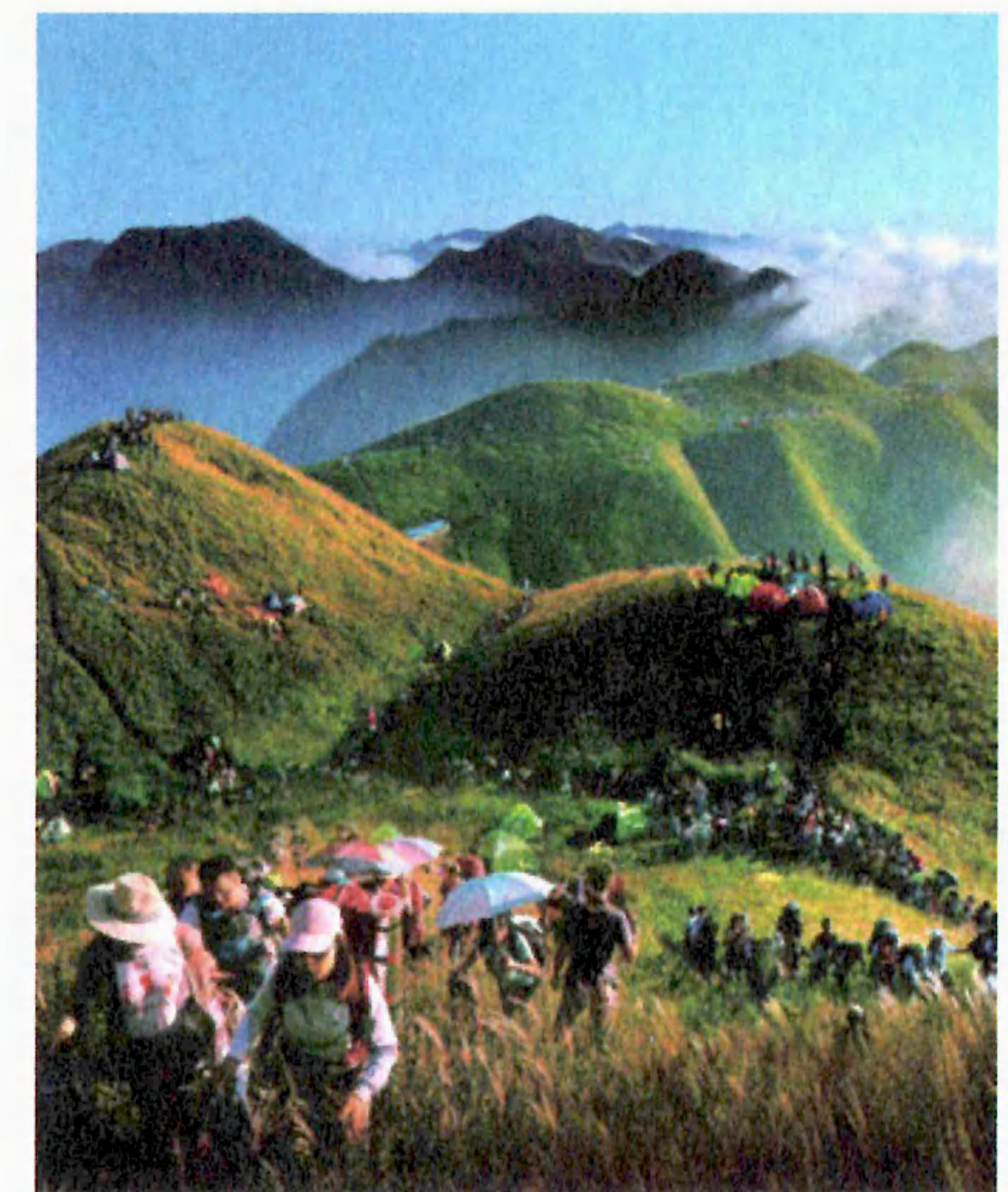


# SEPTEMBER

## 九月、旅の荷物を背に、 武功山で星を数える

武功山の歴史は悠久で、廬山、衡山と並んで「江南三大名山」と称されています。武功山は中国の驢友（バックパッカー）が必ず行くところであり、「雲中草原、屋外天国」と称えられています。

毎年9月武功山のテント祭の時に、各地からの驢友が武功山に集まり、至る所にすべて色とりどりのテントを張ります。驢友たちは武功山の上で星や月を追い、語り合い、屋外音楽祭のリズムに乗って狂喜し、音楽と草原の言葉を越えた触れ合いを体感し、記憶の深淵にある最も美しい風景を形作ります。



## OCTOBER

十月、秋空は高く空気も爽快、  
三清山は紅葉に染まる

三清山はかねてから「雲霧の郷里、松石の画廊」、「江南第一仙峰」と称えられています。中国の国内外の地質学者はみな三清山が「西太平洋辺縁の最も美しい花崗岩」だとしており、2008年には国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界自然遺産に登録されました。

三清山の高空栈道は、平均海拔1600メートル、すべて断崖絶壁の上で人力によって建造されたものであり、3000メートル以上には1つの石段もなく、驚嘆を禁じえません。

秋分後の三清山は層林盡染（幾重にも重なり合った林が色付き染め上げられる様）、晩秋には楓がここの「トレンド」になり、浅から深への色彩の変化は、この地の楓に、奇石が重なり合う中、比類なき艶やかさを与えます。

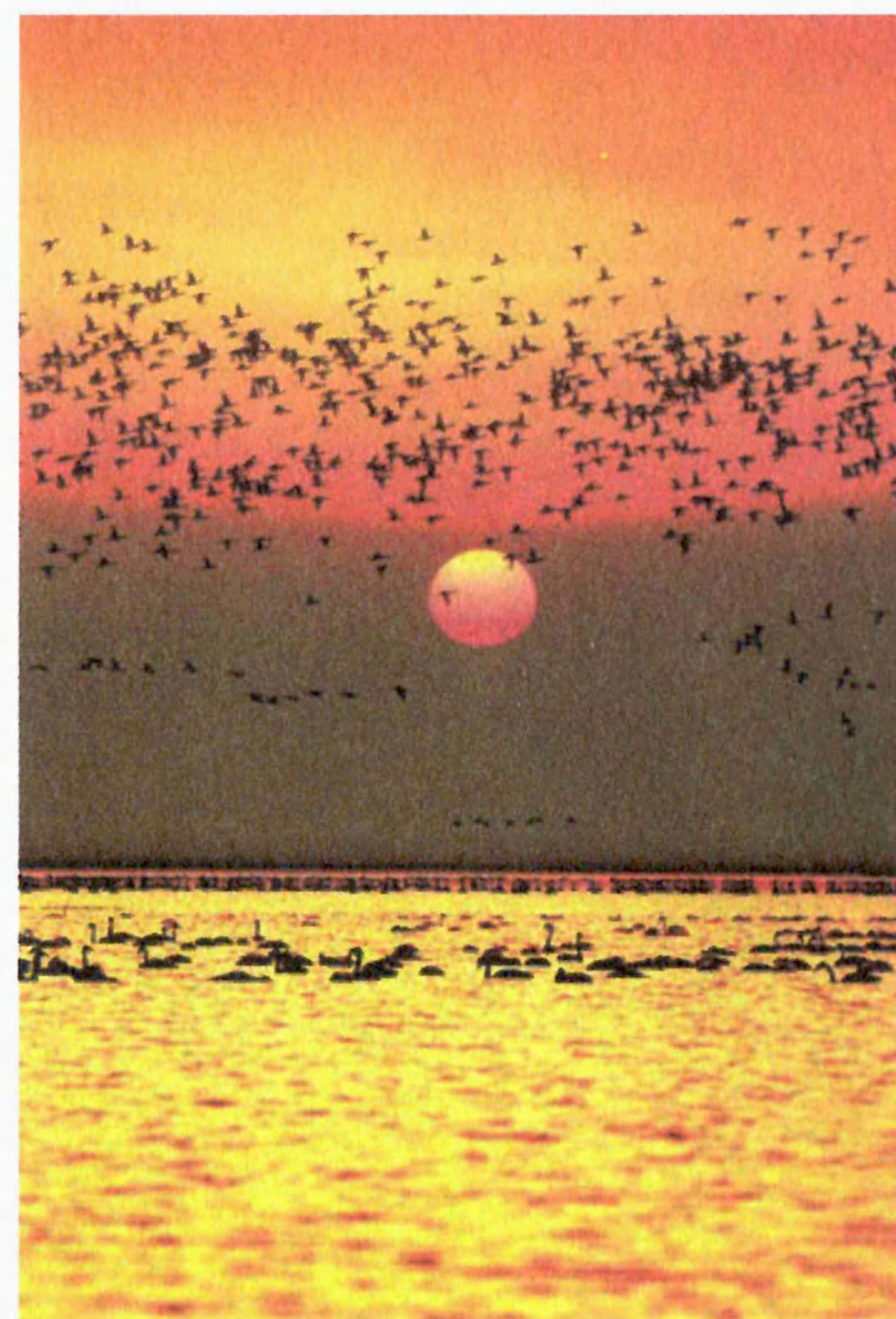


## NOVEMBER

十一月、鄱陽湖に来て、  
渡り鳥と友達に

「鄱湖の鳥、その数を知るや？その飛ぶ時は雲と日をすべて遮り、その落ちる時は湖辺の草も見えず。」この鄱陽湖の民謡は、鄱陽湖の渡り鳥に対する自然景観の真実の描写です。鄱陽湖は中国最大の淡水湖であり、渡り鳥の天国でもあります。毎年冬季に何千何万という渡り鳥は遠方から飛来し、廣大でひっそりとした鄱陽の水も渡り鳥のために波打ちます。鄱陽湖は「ツルの世界」と称され、毎年の冬季、全世界98%のツルがロシア極東地区から出発し、5000数キロメートルを飛び鄱陽湖に到着して越冬します。

夏季には、鄱陽湖の水位は上昇し、ネット民たちから最も美しい水上道路だと称えられる永吳道路も水に覆いつくされ、まるでアニメ『千と千尋の神隠し』の水上鉄道のような壮観でロマンチックな情景を形成します。



## DECEMBER

### 十二月、南方の雪、廬山の正体を探る

廬山は中華十大名山の1つであり、中国なら誰でも知っていると言えるでしょう。廬山は最も中国の文人に偏愛された山だとも言え、歴史上では、3,500名以上の有名人が廬山で16,000首以上の詩を残しました。唐代の大詩人・李白は廬山の滝の「飛流直下三千尺(=滝が三千尺の高さを流れ落ちるさま)」に驚嘆し、宋代の大詩人蘇軾は「不識廬山真面目(=廬山の正体を知りえず)」と感嘆しました。すべて中国の子供達には聞き慣れていて詳しく説明できる詩句ばかりです。

牯嶺鎮は、廬山の山頂に位置し、「万国別荘建物博覧園」を有し、中国と西洋文化が融合して照り映える歴史の標本です。江西の冬季にはあまり雪が降りませんが、幸いなことに海拔の高い廬山の上では、完全に北国の風景となります。廬山では、一夜にして大雪が降った後は、一面銀世界で、万籟寂静として声もありません。琴湖が雪国になったように、牯嶺は童話の世界となり、含鄱口は雪で覆われ、いかなる冬の美しさも廬山の雪には及ばないでしょう。



贛南客家美食 黄元米果



藜蒿(リーハオ)とベーコンの炒め物



蓮花血鴨



清明果

## CHAPTER 5

### 江西の美食

江西は昔から「魚米の郷」と称えられています。江西料理も「贛菜」といい、その特徴は、材料の選択の広範さ、製作の精密さ、素材の持ち味を生かし、香り高い辛さに、適度な塩味を持った美味しさです。特に辛い食べ物が好きな観光客はきっと気に入ることでしょう。有名な伝統料理は三杯鶏、「四星望月」、米粉蒸し肉、贛南小魚炒め、藜蒿(リーハオ。江西省鄱陽湖沿岸に最も多く自生する草。甘みがあり無毒で食用に適している)とベーコンの炒め物、廬山石鶏、余乾唐辛子と豚肉の炒め物、蓮花血鴨、永和豆腐、井岡煙筍などがあります。

豊富かつ美味しい江西料理の他にも、江西の軽食名品目はもっと多彩です。朝食には、瓦罐湯(瓦罐という食器に入ったスープ)と拌粉(汁なし米粉)、臨川の牛雜(牛の内臓)粉、九江の清明果、安遠の三鮮粉、鉛山の燙粉などがあります。さらにいくつかの有名な軽食があり、それらはおやつとして食べてもいいですし、正式な食事として食べることもできます。例えば豊城の凍米糖、九江の茶餅と油面、貴溪の灯心餅、客家の擂茶、寧都の肉団子等々です。

## CHAPTER 6

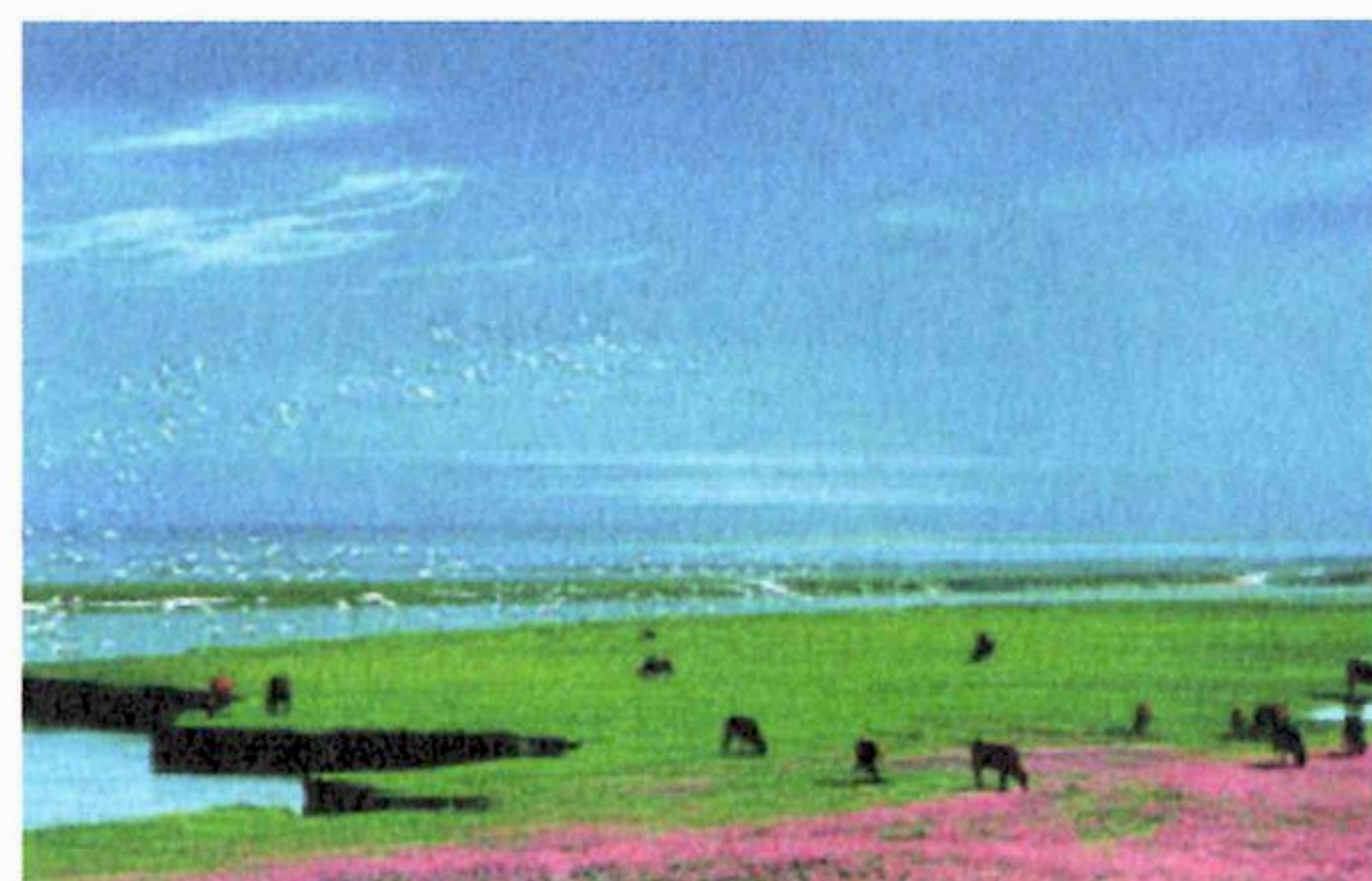
### おすすめ観光ルート



#### 山魂磁韻、夢を尋ね源流を遡る観光ルート

ルート：南昌——廬山——景德鎮——婺源——三清山——竜虎山——南昌

見どころ：廬山の詩情山水、景德鎮の陶磁器の歴史、婺源の村里古情緒、三清山の峰石奇観、龍虎山の道教文化と崖墓の謎



#### 鄱陽湖自然ツアールート

ルート：南昌——新建南磯山——永修吳城——共青城——靴山——都昌老関羽廟——鄱陽湖国家湿地公園——余乾康山——南昌

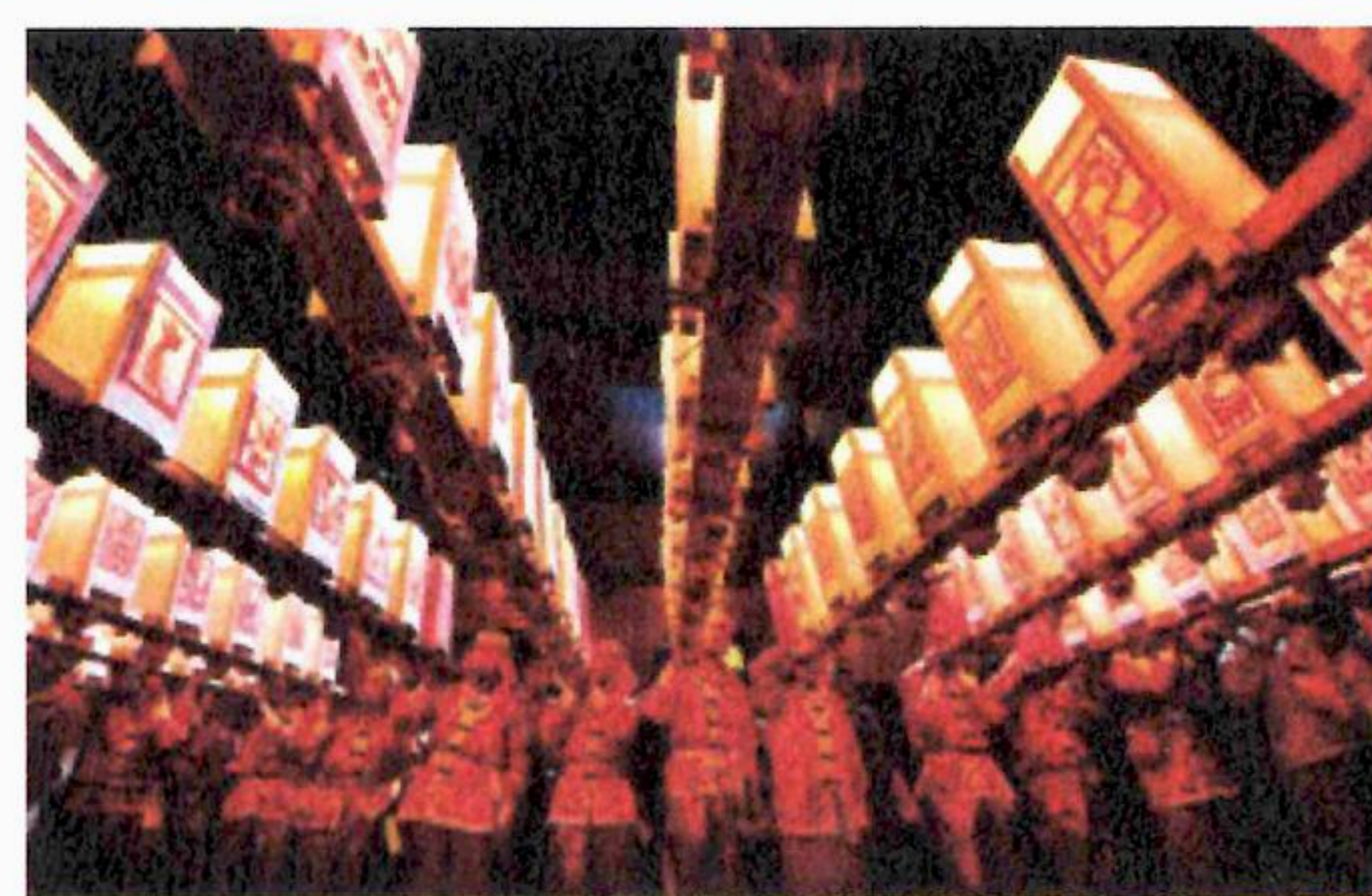
見どころ：中国最大の淡水湖、国際的に重要な湿地、渡り鳥の天国、ツルの王国



#### 緑色精粹観光ルート

ルート：南昌——仙女湖——江西武功山——三爪崙——南昌

見どころ：仙女湖の愛情文化、宜春の高セレン温泉、江西武功山の飛瀑竹海、高山芝原、アウトドアリゾート



#### 五色炫曜ルート

ルート：南昌——撫州——吉安——贛州——南昌

見どころ：流坑、竹橋、漢陂などの古村・名鎮、吉州の古窯、客家の囲屋、書院文化、赤色（革命）文化

## CHAPTER 7

### 江西の宿泊

CTRIPの英文ウェブサイトログインすると、ホテルを予約することができる

<http://english.ctrip.com/>

#### 特色ある民宿



婺源悦園藝扉民宿



婺源花满堂民宿



新余彩色村民宿



竜南虔心小鎮民宿

#### 江西ハイエンドホテル



南昌瑞頤大酒店（スイスグランド南昌）



三清山ヒルトンリゾートホテル



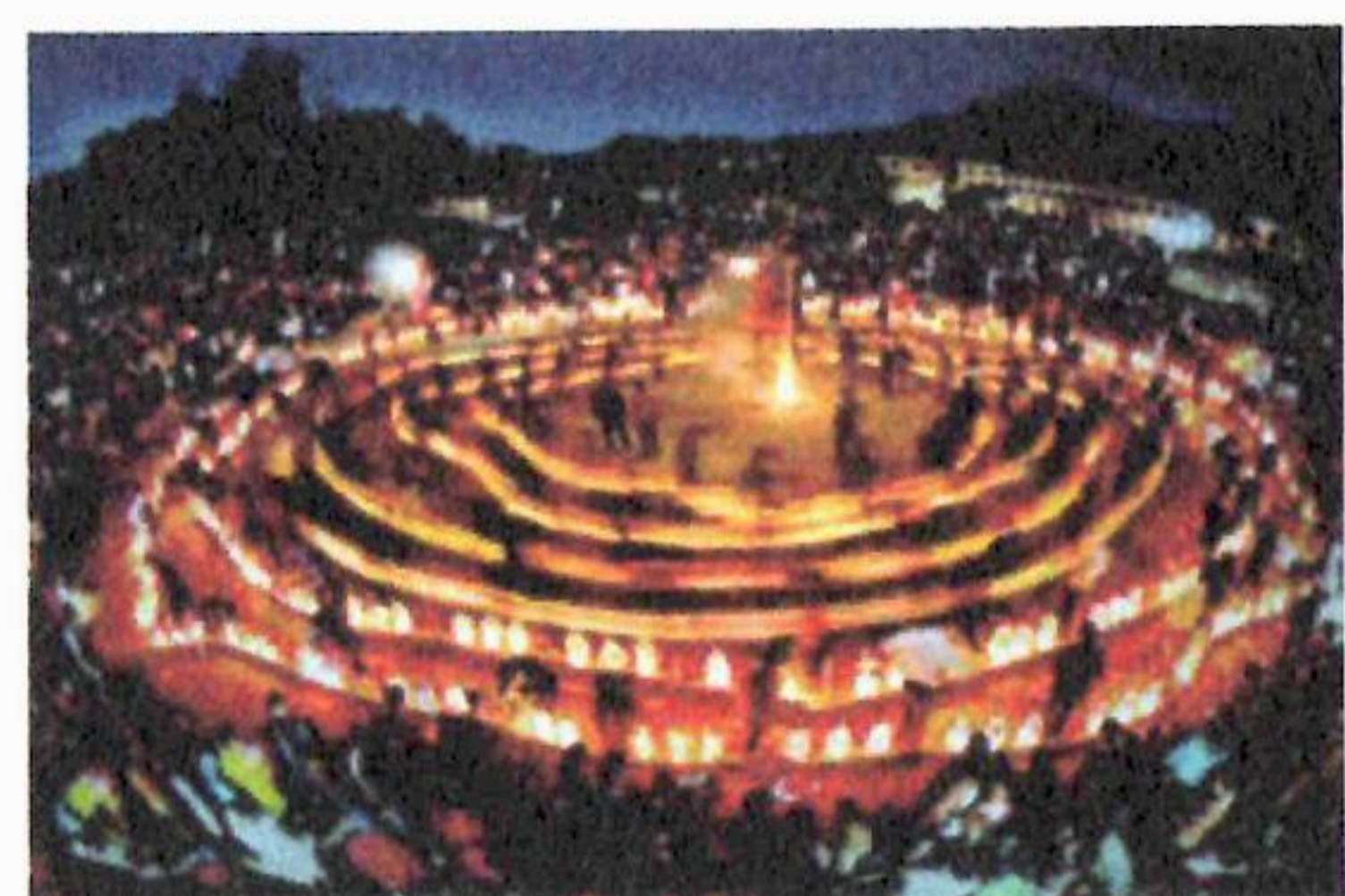
南昌シャングリ・ラホテル



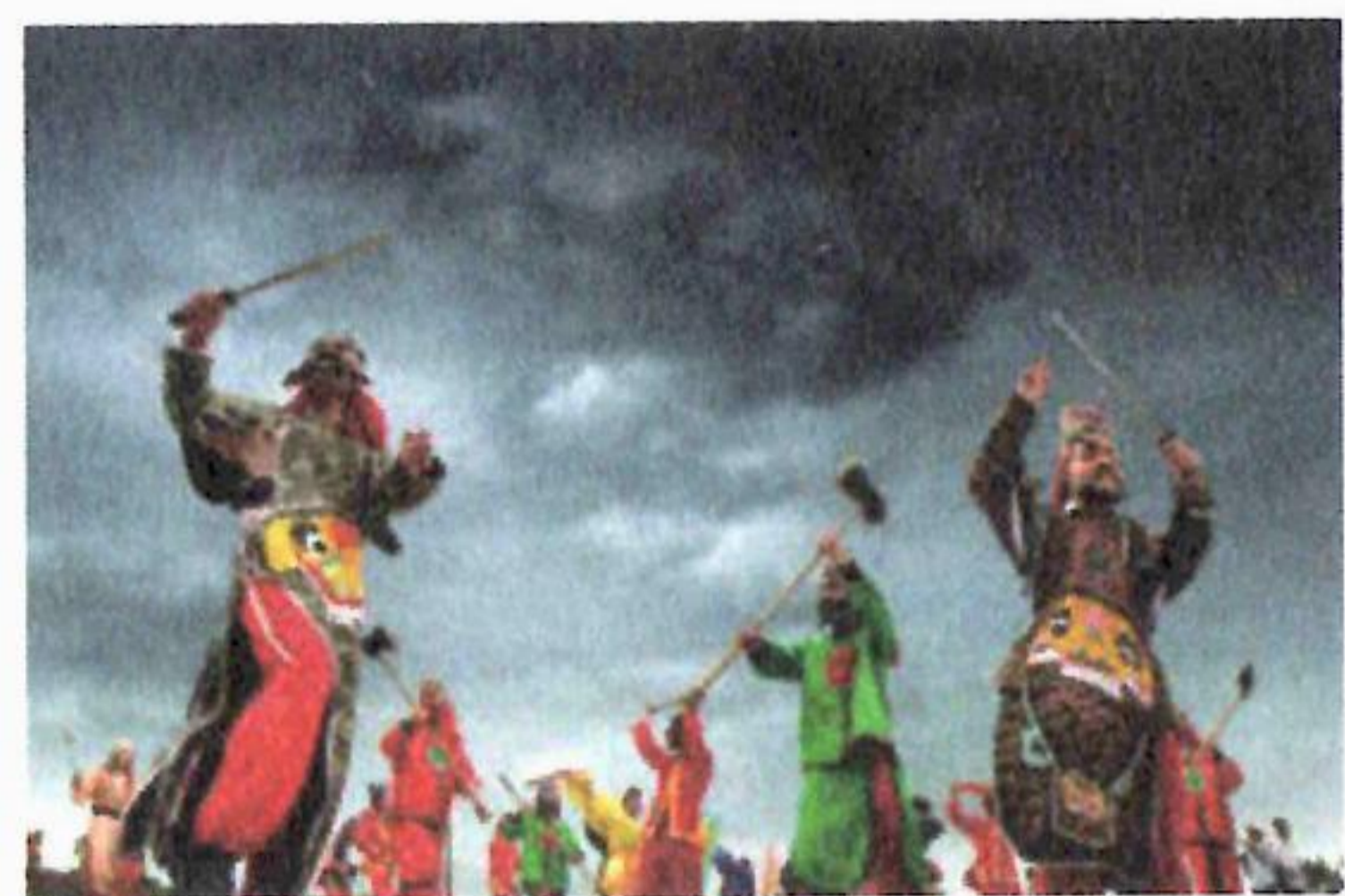
『牡丹亭』スチール写真（劇風景）



吉安陂下で船を呼んで出発



石城団灯



萍鄉儺舞



宜春月文化祭での孔明灯の打ち上げ

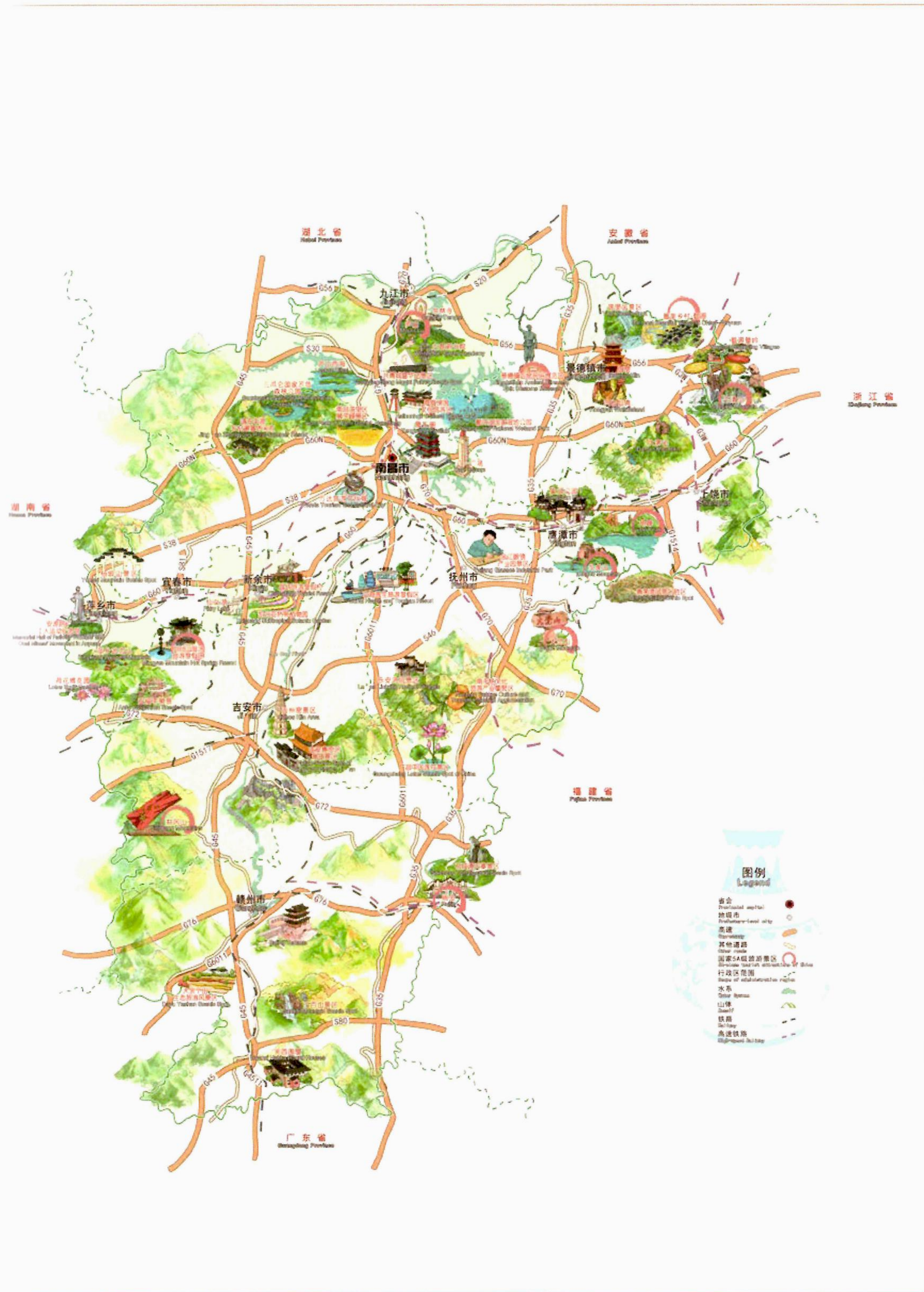


龍南栗園団の香火龍

## CHAPTER 8

### 民俗文化

江西は古来より有名な物産が多くて民が豊かな所であり、江西の多彩な民俗文化は正にこのような手厚い土壌において生長しています。その内、たくさん独特の特徴のある業界があり、それに応じる生産・生活の習俗もあり、たとえば景德鎮の磁器、樟木の薬俗、広昌の蓮俗及び万年の花火・爆竹の習俗；北人南移と呉頭楚尾の歴史的環境は、多くの事を包括する江西文化も育まれています。例えば贛南の客家困屋、婺源の民家、風格がまるで異なりと言えます。伝統的な演劇の方面で、弋陽腔、青陽腔、広昌孟劇、宜黄劇、贛南采茶劇が入り乱れて輝き、共生共栄です。江西は巨大な多元の文化の融合させている「文化場」だと言えます。



江西省は自然に恵まれ、人材が輩出し、物産も豊かなところで、儒家復興の地、仏教繁盛の地、陶磁器の都、客家文化の源、革命精神の庭、グリーン生態の宝庫としてその名を馳せているのである。“廬山は天下を悠然と見、三清山は天下を抜きん出て、竜虎山は天下を絶賛させる”といったような江西省の際立った美しい景色はあなたとの出会いを期待している。



ご覧いただきありがとうございます！

